

大和住銀／ コロンビア米国株 リバーサル戦略ファンド

Aコース(ダイワ投資一任専用)／
Bコース(ダイワ投資一任専用)
【運用報告書(全体版)】

(2022年6月16日から2023年6月15日まで)

第 7 期

決算日 2023年6月15日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

各ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(設定日:2016年9月26日)
運用方針	外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)は以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス 米国の株式等 原則として組入資産に対して対円で為替ヘッジを行います。 マネー・マネジメント・マザーファンド 本邦貸建て公社債および短期金融商品等 大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)は以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス 米国の株式等 原則として為替ヘッジは行いません。 マネー・マネジメント・マザーファンド 本邦貸建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	■当ファンドは、投資者と販売会社が締結する投資一任契約に基づいて、資産を管理する口座の資金を運用するためのファンドです。 ■米国株式を実質的な投資対象とし、コロンビア社の米国株リバーサル戦略により信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■「コロンビア・USコントラリアン・ファンド」における株式の銘柄選択にあたっては、個別企業のファンダメンタルズを勘案したリバーサル(逆張り)戦略により行います。外国投資信託証券における株式の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎年6月15日(休業日の場合翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配金額を決定します。 ■分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によって変更する場合があります。)



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) S & P 500インデックス (配当)		公社債組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税金	騰落率	配当	騰落率			
3期 (2019年6月17日)	円	円	%		%	%	%	百万円
	12,427	0	1.3	140.93	5.9	0.0	97.9	532
4期 (2020年6月15日)	13,035	0	4.9	151.42	7.4	0.0	97.9	786
5期 (2021年6月15日)	18,196	0	39.6	215.22	42.1	0.0	98.3	1,599
6期 (2022年6月15日)	15,466	0	△15.0	191.68	△10.9	0.0	97.3	1,530
7期 (2023年6月15日)	17,430	0	12.7	228.26	19.1	0.0	97.4	1,993

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) S & P 500インデックス (配当)		公社債組入比率	投資信託証券組入比率
	騰落率	騰落率				
(期首) 2022年6月15日	円	%		%	%	%
	15,466	—	191.68	—	0.0	97.3
6月末	15,788	2.1	196.04	2.3	0.0	97.3
7月末	16,519	6.8	209.28	9.2	0.0	97.5
8月末	16,263	5.2	205.19	7.0	0.0	97.6
9月末	14,825	△4.1	187.69	△2.1	0.0	97.4
10月末	15,837	2.4	201.33	5.0	0.0	97.3
11月末	15,847	2.5	204.62	6.7	0.0	97.7
12月末	15,335	△0.8	199.34	4.0	0.0	93.0
2023年1月末	15,990	3.4	208.29	8.7	0.0	97.4
2月末	15,747	1.8	206.79	7.9	0.0	97.1
3月末	16,096	4.1	210.71	9.9	0.0	97.6
4月末	16,441	6.3	215.29	12.3	0.0	97.2
5月末	16,836	8.9	219.33	14.4	0.0	97.6
(期末) 2023年6月15日	17,430	12.7	228.26	19.1	0.0	97.4

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) S & P 500 インデックス (配当込み、円換算ベース)		公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率	純資産額
	(分配落)	税金 分配	期騰 落率	期騰 落率	期騰 落率			
3期 (2019年6月17日)	円 14,091	円 0	% 2.1	151.99	% 3.9	% 0.0	% 98.0	百万円 416
4期 (2020年6月15日)	14,824	0	5.2	161.17	6.0	0.0	97.9	669
5期 (2021年6月15日)	21,330	0	43.9	235.21	45.9	0.0	98.5	1,221
6期 (2022年6月15日)	22,137	0	3.8	256.87	9.2	0.0	97.6	1,983
7期 (2023年6月15日)	26,811	0	21.1	318.07	23.8	0.0	97.7	3,009

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) S & P 500 インデックス (配当込み、円換算ベース)		公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2022年6月15日	円 22,137	% -	256.87	% -	% 0.0	% 97.6
6月末	22,997	3.9	265.96	3.5	0.0	97.7
7月末	23,707	7.1	279.62	8.9	0.0	97.5
8月末	24,117	8.9	282.33	9.9	0.0	97.9
9月末	22,960	3.7	269.77	5.0	0.0	95.8
10月末	25,108	13.4	296.27	15.3	0.0	97.8
11月末	23,622	6.7	282.04	9.8	0.0	97.8
12月末	22,086	△ 0.2	262.56	2.2	0.0	92.7
2023年1月末	22,646	2.3	269.73	5.0	0.0	97.6
2月末	23,339	5.4	279.82	8.9	0.0	97.8
3月末	23,346	5.5	279.26	8.7	0.0	97.9
4月末	24,177	9.2	286.62	11.6	0.0	96.4
5月末	25,897	17.0	304.28	18.5	0.0	97.9
(期末) 2023年6月15日	26,811	21.1	318.07	23.8	0.0	97.7

※騰落率は期首比です。

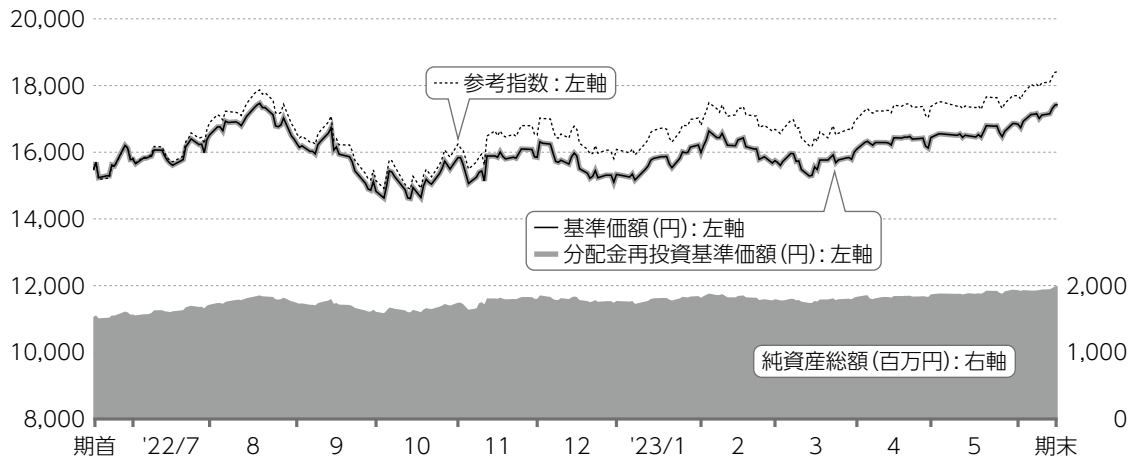
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年6月16日から2023年6月15日まで)

基準価額等の推移

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	15,466円
期末	17,430円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+12.7% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

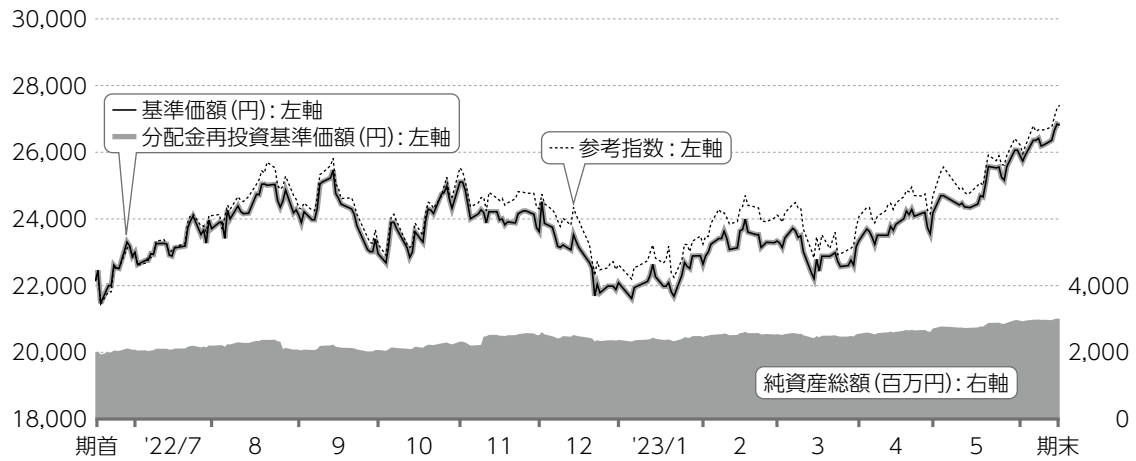
分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、S & P 500インデックス(配当込み)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	22,137円
期末	26,811円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+21.1% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、S & P 500インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2022年6月16日から2023年6月15日まで)

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資しました。

上昇要因

- インフレ見通しやF R B (米連邦準備制度理事会)の金融政策に対する思惑、企業業績動向などで上下したものの、期間を通じてみると米国株が上昇したこと

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資しました。

上昇要因

- インフレ見通しやF R Bの金融政策に対する思惑、企業業績動向などで上下したものの、期間を通じてみると米国株が上昇したこと
- 期間を通じてみれば、米ドル高・円安となったこと

投資環境について（2022年6月16日から2023年6月15日まで）

期間における米国株式市場は上昇しました。また、為替市場は米ドル高・円安となりました。

米国株式市場

米国株式市場は上昇しました。期間の初めから8月中旬にかけては、長期金利(10年国債利回り)が低下基調で推移したことや、7月末のFOMC(米連邦公開市場委員会)での利上げ幅が市場予想通りとなり、パウエルFRB議長が今後の利上げペースを緩める可能性に言及したことなどから、米国株式市場は上昇しました。しかしながら、8月中旬以降は一部の半導体企業の軟調な業績見通しの発表や、FRBのタカ派(インフレ抑制を重視する立場)的な姿勢を嫌気して株式市場は再び調整し、10月中旬まで下落しました。その後は、インフレ見通しと金融政策への思惑、景気見通しと業績発表などに左右され上下に振れましたが、上昇基調が継続しました。3月には地方銀行の破綻などで一時的に金融不安が強まりましたが、迅速な対応で株式市場全体への影響は大きくありませんでした。また、AI技術に関わる成長期待から、半導体関連銘柄を中心にテクノロジー銘柄が大きく上昇しました。

為替市場

米ドル・円相場は期間の初めから2022年10月中旬にかけては、FRBがタカ派色を強めることで、日米における金融政策の方向性の違いや金利差拡大を背景に米ドル高・円安となりました。その後、米国の利上げペースの緩和期待が強まったことなどから、米ドル・円相場は反転し、1月中旬にかけて米ドル安・円高が進行しました。1月下旬から期末にかけては、3月に米地銀の破綻などで米ドル安となる局面もあったものの、緩やかな米ドル高・円安基調となりました。

ポートフォリオについて（2022年6月16日から2023年6月15日まで）

**大和住銀／コロンビア米国株リバーサル
戦略ファンド Aコース
（ダイワ投資一任専用）**

主要投資対象である「コロンビア・US
コントラリアン・ファンド ヘッジド・クラ
ス」を期間を通じて高位に組み入れました。

**コロンビア・USコントラリアン・
ファンド ヘッジド・クラス**

当ファンドの運用戦略であるリバーサル
戦略（ファンダメンタルズ分析および株価水
準を考慮した逆張り投資）に基づき、株式
ポートフォリオを運用しました。

期間における主な売買としては、
Medtronic Plc、The Procter & Gamble
Company、Parker-Hannifin Corporation
などを購入する一方、CVS Health
Corporation、State Street Corporation、
Southwest Airlines Co.などを売却しまし
た。

また、対円で為替ヘッジを行い、為替変
動リスクの低減を目指しました。

**大和住銀／コロンビア米国株リバーサル
戦略ファンド Bコース
（ダイワ投資一任専用）**

主要投資対象である「コロンビア・US
コントラリアン・ファンド アンヘッジド・
クラス」を期間を通じて高位に組み入れま
した。

**コロンビア・USコントラリアン・
ファンド アンヘッジド・クラス**

当ファンドの運用戦略であるリバーサル
戦略（ファンダメンタルズ分析および株価水
準を考慮した逆張り投資）に基づき、株式
ポートフォリオを運用しました。

期間における主な売買としては、
Medtronic Plc、The Procter & Gamble
Company、Parker-Hannifin Corporation
などを購入する一方、CVS Health
Corporation、State Street Corporation、
Southwest Airlines Co.などを売却しまし
た。

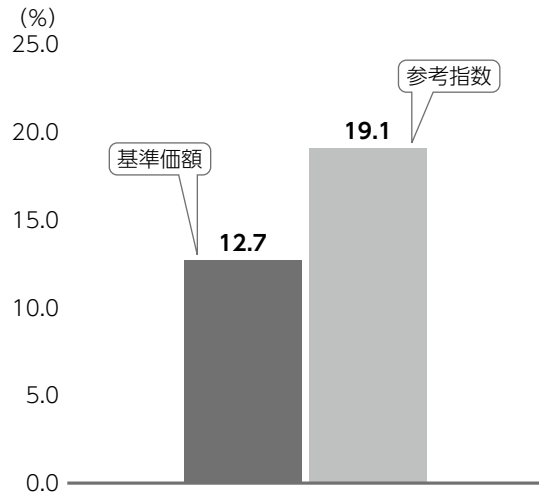
マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の政府保
証債を中心とした運用を行いました。年限
に関しては、残存6ヵ月以内の短期の政府
保証債を中心とした運用を継続しました。

ベンチマークとの差異について（2022年6月16日から2023年6月15日まで）

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）

基準価額と参考指数の騰落率対比

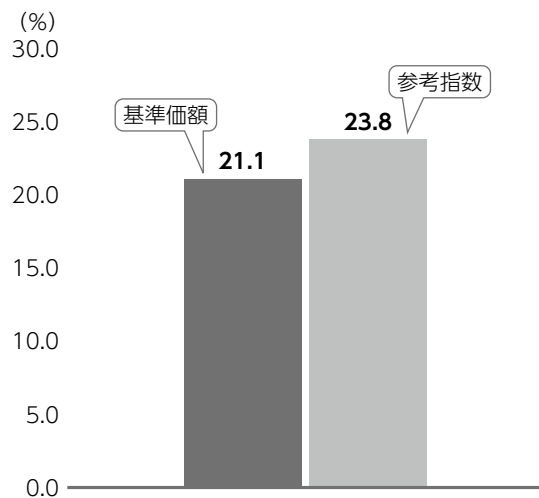


※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてS & P 500インデックス（配当込み）を設けています。記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてS & P 500インデックス（配当込み、円換算ベース）を設けています。記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について（2022年6月16日から2023年6月15日まで）

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）
／Bコース（ダイワ投資一任専用）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項 目	第7期	
	Aコース (ダイワ投資一任専用)	Bコース (ダイワ投資一任専用)
当期分配金	0	0
(対基準価額比率)	(0.00%)	(0.00%)
当期の収益	-	-
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	7,630	16,811

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとした。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース （ダイワ投資一任専用）

引き続き、運用の基本方針に従い、「コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス」への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス

ポートフォリオの長期的価値を創造する可能性のある投資候補を選択する上での出発点として、市場に広がる悲観論に着目しており、それらの悲観論により株価が下落している銘柄を調査対象として、逆張りの投資プロセスを忠実に守っています。非常にボラティリティ（価格変動性）が高く、流動的な市場環境の中でリスクに留意しつつ、長期にわたり上手く機能してきた逆張りプロセスを進める方針です。

また、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース （ダイワ投資一任専用）

引き続き、運用の基本方針に従い、「コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス」への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス

ポートフォリオの長期的価値を創造する可能性のある投資候補を選択する上での出発点として、市場に広がる悲観論に着目しており、それらの悲観論により株価が下落している銘柄を調査対象として、逆張りの投資プロセスを忠実に守っています。非常にボラティリティが高く、流動的な市場環境の中でリスクに留意しつつ、長期にわたり上手く機能してきた逆張りプロセスを進める方針です。

マネー・マネジメント・マザーファンド

当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

3 お知らせ

約款変更について

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用） ／Bコース（ダイワ投資一任専用）

該当事項はございません。

1万口当たりの費用明細(2022年6月16日から2023年6月15日まで)

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	84円	0.522%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は16,030円です。
(投信会社)	(62)	(0.385)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(18)	(0.110)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.027)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	2	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.010)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	86	0.533	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

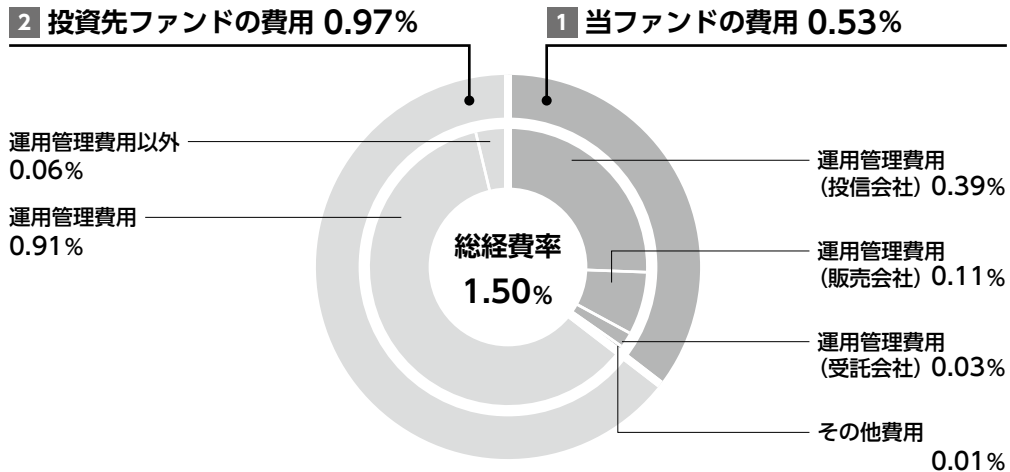
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1+2)	1.50%
1 当ファンドの費用の比率	0.53%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.91%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.50%です。

大和住銀／コロムビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	124円	0.522%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は23,726円です。
(投信会社)	(91)	(0.385)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(26)	(0.110)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(7)	(0.027)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	3	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.010)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	127	0.534	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

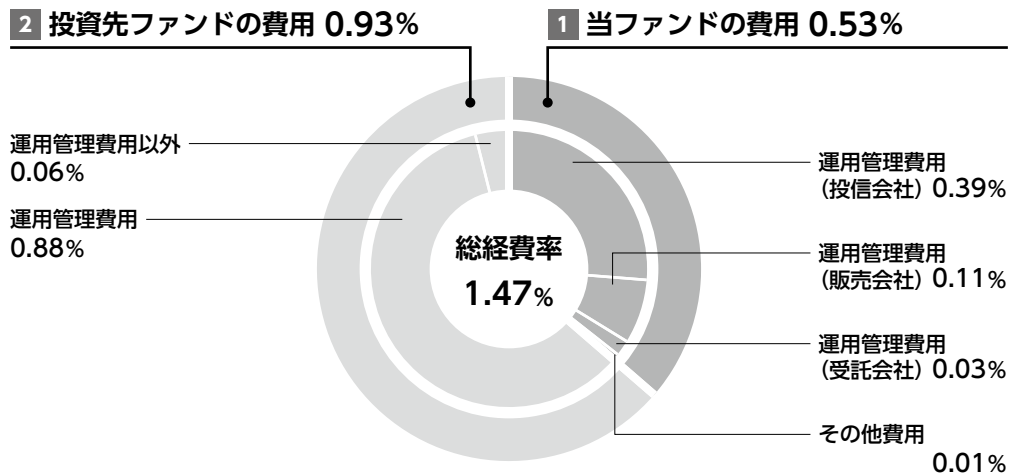
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1+2)		1.47%
1	当ファンドの費用の比率	0.53%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.88%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.47%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況（2022年6月16日から2023年6月15日まで）

投資信託証券

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	コロンビア・USコントラリアン・ ファンド ヘッジド・クラス	口 344,827,560	千円 578,679	口 208,588,679	千円 353,035

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	コロンビア・USコントラリアン・ ファンド アンヘッジド・クラス	口 472,329,367	千円 1,176,710	口 270,688,104	千円 679,938

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等（2022年6月16日から2023年6月15日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 （2022年6月16日から2023年6月15日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2023年6月15日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）

ファンド名	期首(前期末)	期		末
	口数	口数	評価額	組入比率
コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス	917,374,426	1,053,613,307	1,941,914	97.4
合計	917,374,426	1,053,613,307	1,941,914	97.4

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

ファンド名	期首(前期末)	期		末
	口数	口数	評価額	組入比率
コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス	830,064,659	1,031,705,922	2,939,330	97.7
合計	830,064,659	1,031,705,922	2,939,330	97.7

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）

種類	期首(前期末)	期		末
	口数	口数	評価額	評価額
マネー・マネジメント・マザーファンド	9	9	9	9

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

種類	期首(前期末)	期		末
	口数	口数	評価額	評価額
マネー・マネジメント・マザーファンド	9	9	9	9

※マネー・マネジメント・マザーファンドの期末の受益権総口数は7,316,178口です。

■ 投資信託財産の構成

(2023年6月15日現在)

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）

項目	期	末
	評価額	比率
投資信託受益証券	1,941,914	96.4
マネー・マネジメント・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	72,520	3.6
投資信託財産総額	2,014,445	100.0

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

項目	期	末
	評価額	比率
投資信託受益証券	2,939,330	97.2
マネー・マネジメント・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	85,653	2.8
投資信託財産総額	3,024,993	100.0

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年6月15日現在)

項目	期末
(A) 資産	2,014,445,613円
コール・ローン等	72,520,974
投資信託受益証券(評価額)	1,941,914,686
マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額)	9,953
(B) 負債	20,754,104
未払金	15,163,434
未払解約金	634,436
未払信託報酬	4,771,098
その他未払費用	185,136
(C) 純資産総額(A-B)	1,993,691,509
元本	1,143,811,175
次期繰越損益金	849,880,334
(D) 受益権総口数	1,143,811,175口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,430円

※当期における期首元本額989,291,703円、期中追加設定元本額345,295,005円、期中一部解約元本額190,775,533円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2022年6月16日 至2023年6月15日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 24,862円
受取利息	3,682
支払利息	△ 28,544
(B) 有価証券売買損益	215,571,798
売買益	229,919,888
売買損	△ 14,348,090
(C) 信託報酬等	△ 9,436,742
(D) 当期損益金(A+B+C)	206,110,194
(E) 前期繰越損益金	△ 41,084,124
(F) 追加信託差損益金	684,854,264
(配当等相当額)	(412,077,324)
(売買損益相当額)	(272,776,940)
(G) 合計(D+E+F)	849,880,334
次期繰越損益金(G)	849,880,334
追加信託差損益金	684,854,264
(配当等相当額)	(412,077,324)
(売買損益相当額)	(272,776,940)
分配準備積立金	187,958,948
繰越損益金	△ 22,932,878

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	684,854,264
(d) 分配準備積立金	187,958,948
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	872,813,212
1万口当たり当期分配対象額	7,630.75
(f) 分配金	0
1万口当たり分配金	0

■ 分配金のお知らせ

	当	期
1万口当たり分配金（税引前）		0円

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2023年6月15日現在）

項目	期末
(A) 資産	3,024,993,926円
コール・ローン等	77,739,283
投資信託受益証券(評価額)	2,939,330,171
マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額)	9,953
未収入金	7,914,519
(B) 負債	15,080,496
未払解約金	8,076,040
未払信託報酬	6,752,250
その他未払費用	252,206
(C) 純資産総額(A-B)	3,009,913,430
元本	1,122,626,974
次期繰越損益金	1,887,286,456
(D) 受益権総口数	1,122,626,974口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,811円

※当期における期首元本額895,993,858円、期中追加設定元本額486,367,211円、期中一部解約元本額259,734,095円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

（自2022年6月16日 至2023年6月15日）

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 35,932円
受取利息	4,635
支払利息	△ 40,567
(B) 有価証券売買損益	462,294,244
売買益	510,726,966
売買損	△ 48,432,722
(C) 信託報酬等	△ 12,855,788
(D) 当期損益金(A+B+C)	449,402,524
(E) 前期繰越損益金	181,084,095
(F) 追加信託差損益金	1,256,799,837
(配当等相当額)	(564,488,627)
(売買損益相当額)	(692,311,210)
(G) 合計(D+E+F)	1,887,286,456
次期繰越損益金(G)	1,887,286,456
追加信託差損益金	1,256,799,837
(配当等相当額)	(564,488,627)
(売買損益相当額)	(692,311,210)
分配準備積立金	630,522,529
繰越損益金	△ 35,910

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	449,421,299
(c) 収益調整金	1,256,799,837
(d) 分配準備積立金	181,101,230
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,887,322,366
1万口当たり当期分配対象額	16,811.66
(f) 分配金	0
1万口当たり分配金	0

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	当	期

各ファンドとも、上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス／アンヘッジド・クラス
形態	ケイマン籍契約型投資信託（円建て）
主要投資対象	米国の株式等を主要投資対象とします。
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●主として米国の株式等に投資することで、中長期的な信託財産の成長を目指します。 <ul style="list-style-type: none"> ・株式等の投資にあたっては、厳格なファンダメンタルズ分析および株価水準を考慮した逆張り戦略により、安定した超過収益の獲得を目指します。 ・株式等の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。 ●ヘッジド・クラスでは、原則として組入資産に対して対円で為替ヘッジを行います。アンヘッジド・クラスでは、原則として為替ヘッジは行いません。 ●資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ●株式等への投資割合には、制限を設けません。 ●日本の投資信託協会の規則に従って計算される、同一発行体に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーは、原則として、それぞれ純資産総額の10%以内、合計で純資産総額の20%以内とします。 ●デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
申込手数料	ありません。
運用管理費用	<p>純資産総額に対して</p> <p>管理報酬：年0.06%</p> <p>運用報酬：年0.40%</p> <p>保管会社報酬：年0.01%（最低年12,000米ドル）</p> <p>※上記のほか、受託会社報酬（年20,000米ドル）、管理事務費用（年85,000米ドル程度）および名義書換事務代行費用（年8,400米ドル）などがかかりますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率等を示すことができません。</p> <p>また、上記の各料率には、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
投資顧問会社	コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス／アンヘッジド・クラス」をシェアクラスとして含む「コロンビア・USコントラリアン・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

包括利益計算書 2022年9月30日に終了した年度

2022年9月30日に
終了した決算期
(単位：日本円)

収益	
受取配当金	69,441,055
受取利息	8,958,259
外国為替の損益	70,375,011
損益を通じて公正価値で測定される金融資産負債のその他純変動	(155,800,422)
投資純損益	(7,026,097)
費用	
受託会社報酬及び管理事務代行会社費用	2,510,939
副管理事務代行会社費用	14,931,272
カストディアンフィー	8,254,205
投資運用報酬	22,016,992
管理報酬	3,848,324
取引費用	1,853,973
スワップ関連費用	2,546,915
コラテラル・エージェント・フィー	1,138,940
その他費用	3,391,538
費用計	60,493,098
税引前損益	(67,519,195)
源泉税	(19,602,129)
受益者に帰属する純資産の増減（設立費用調整前）	(87,121,324)
設立費用調整額	—
受益者に帰属する純資産の増減（設立費用調整後）	(87,121,324)

組入上位銘柄

(基準日：2022年9月30日)

	銘柄名	業種名	比率
1	Microsoft Corporation	情報技術	6.8%
2	Apple Inc.	情報技術	6.8%
3	Amazon.com, Inc.	一般消費財・サービス	4.6%
4	Johnson & Johnson	ヘルスケア	3.6%
5	Berkshire Hathaway Inc. Class B	金融	3.0%
6	Walmart Inc.	生活必需品	2.5%
7	Chevron Corporation	エネルギー	2.3%
8	Eli Lilly and Company	ヘルスケア	2.2%
9	Wells Fargo & Company	金融	2.1%
10	T-Mobile US, Inc.	コミュニケーション・サービス	1.9%
	全銘柄数	75銘柄	

※比率はポートフォリオに対する割合

マネー・マネジメント・マザーファンド

第9期（2021年7月27日から2022年7月25日まで）

信託期間	無期限（設定日：2013年6月3日）
運用方針	■安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		公社入比率	純資産額
		騰	落		
5期（2018年7月25日）	円 9,995	% △0.1		% 83.5	百万円 49
6期（2019年7月25日）	9,988	△0.1		86.0	37
7期（2020年7月27日）	9,979	△0.1		88.0	27
8期（2021年7月26日）	9,972	△0.1		62.4	27
9期（2022年7月25日）	9,967	△0.1		80.9	17

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

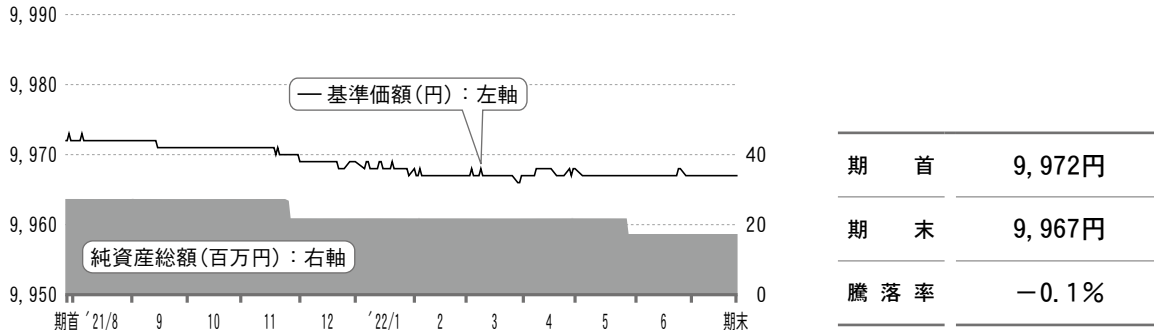
年月日	基準価額	騰落率		公社入比率	債率
		騰	落		
(期首) 2021年7月26日	円 9,972	% -		% 62.4	
7月末	9,972	0.0		62.4	
8月末	9,972	0.0		62.3	
9月末	9,971	△0.0		55.1	
10月末	9,971	△0.0		55.1	
11月末	9,969	△0.0		69.0	
12月末	9,969	△0.0		55.3	
2022年1月末	9,968	△0.0		55.3	
2月末	9,967	△0.1		55.3	
3月末	9,967	△0.1		64.5	
4月末	9,968	△0.0		64.4	
5月末	9,967	△0.1		81.0	
6月末	9,967	△0.1		80.9	
(期末) 2022年7月25日	9,967	△0.1		80.9	

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2021年7月27日から2022年7月25日まで）

基準価額等の推移



▶ 基準価額の主な変動要因（2021年7月27日から2022年7月25日まで）

当ファンドは、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。

下落要因

・マイナス金利政策導入を背景として無担保コールレートがマイナス化していること

▶ 投資環境について（2021年7月27日から2022年7月25日まで）

期間における国内短期金融市場は、マイナス圏で推移しました。

国内短期金融市場

国内短期金融市場では、期間の初め-0.11%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、-0.08%~-0.20%の狭いレンジで推移し、-0.15%近辺で期間末を迎えました。

▶ ポートフォリオについて（2021年7月27日から2022年7月25日まで）

安全性と流動性を考慮し、短期の政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の政府保証債を中心とした運用を継続しました。

▶ ベンチマークとの差異について（2021年7月27日から2022年7月25日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

日本銀行は2021年3月の金融政策決定会合において、より効果的で持続的な金融緩和を実施していくための点検を行いました。現時点で日本銀行によるマイナス金利の深掘りの可能性は低いものの、現行の強力な金融緩和政策を継続することから、市場利回りは当分の間低い水準での推移を予想します。当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2~4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

■ 1万口当たりの費用明細 (2021年7月27日から2022年7月25日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	1円 (1)	0.006% (0.006)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	1	0.006	

期中の平均基準価額は9,969円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年7月27日から2022年7月25日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国内	特 殊 債 券	14,107	(17,000)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年7月27日から2022年7月25日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2021年7月27日から2022年7月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2022年7月25日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
特 殊 債 券 (除く金融債券)	14,000 (14,000)	14,022 (14,022)	80.9 (80.9)	— (—)	— (—)	— (—)	80.9 (80.9)
合 計	14,000 (14,000)	14,022 (14,022)	80.9 (80.9)	— (—)	— (—)	— (—)	80.9 (80.9)

※（ ）内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

種 類	銘 柄	期		末	
		利 率	額面金額	評価額	償還年月日
特 殊 債 券 (除く金融債券)	39政保地方公共団	0.8010	5,000	5,002	2022/08/15
	1 政保新関西空港	0.8010	2,000	2,001	2022/08/29
	175 政保道路機構	0.7910	2,000	2,004	2022/10/31
	42政保地方公共団	0.8050	5,000	5,013	2022/11/14
合 計		—	14,000	14,022	—

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2022年7月25日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 14,022	% 80.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,311	19.1
投 資 信 託 財 産 総 額	17,333	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年7月25日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	17,333,886円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,285,560
公 社 債(評価額)	14,022,488
未 収 利 息	25,838
(B) 負 債	3,025
未 払 解 約 金	3,000
そ の 他 未 払 費 用	25
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	17,330,861
元 本	17,388,524
次 期 繰 越 損 益 金	△ 57,663
(D) 受 益 権 総 口 数	17,388,524口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	9,967円

※当期における期首元本額27,414,261円、期中追加設定元本額90,322円、期中一部解約元本額10,116,059円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

タフ・アメリカ(マネーボールファンド)	3,457,179円
米国小型株ツインα(毎月分配型)	552,681円
日本株アルファ・カルテット(毎月分配型)	1,998,801円
米国リバーサル戦略ツインαネオ(毎月分配型)	11,349,889円
日本株アルファ・カルテット(年2回決算型)	9,990円
大和住銀/コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)	9,992円
大和住銀/コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)	9,992円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2021年7月27日 至2022年7月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	122,522円
受 取 利 息	126,635
支 払 利 息	△ 4,113
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△133,981
売 買 損 益	△133,981
(C) そ の 他 費 用 等	△ 1,431
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 12,890
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 76,231
(F) 解 約 差 損 益 金	31,778
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 320
(H) 合 計(D+E+F+G)	△ 57,663
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△ 57,663

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。